

NEWS RELEASE

2025 年 7 月 9 日

株式会社 UPSIDER ホールディングス
株式会社みずほフィナンシャルグループ

スタートアップ向けデットファンド「UPSIDER BLUE DREAM Growth Fund 2号」の 設立および国内金融機関 7 社の参画について

株式会社 UPSIDER ホールディングス（代表取締役：宮城 徹・水野 智規、以下「UPSIDER」）と株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：木原 正裕、以下「みずほ FG」）は、合併事業としてともに取り組むスタートアップ向けデットファンド「UPSIDER BLUE DREAM Growth Fund 2号投資事業有限責任組合」（以下「本ファンド」）を設立し、このたび出資総額 143 億円にてクローズしたことをお知らせします。

本ファンド設立に際しては、「UPSIDER BLUE DREAM Growth Fund 1号投資事業有限責任組合」（以下「1号ファンド」）設立時に掲げた「オープンなベンチャーデットのプラットフォームを目指す」という理念を具現化すべく、本ファンドの理念に共感いただいた 7 社に、新たな LP 投資家として参画いただいています。



本ファンドのクロージングにより、1号ファンドと合わせた出資総額は、243 億円となります。

1. 本ファンド設立の背景

2023 年 11 月、UPSIDER のテクノロジーを活用した新たな与信モデルと、みずほ FG の永年培ってきた融資ノウハウ・金融ソリューション等を融合することにより、挑戦者を支える新たな金融サービスの開発・提供を行っていくことを目的に、出資総額 100 億円にて 1 号ファンドをスタートしました。

スタートアップの旺盛な資金需要を背景に、1号ファンドからの貸付は順調に進捗している状況にあり、今後ますます拡大が見込まれるデットファイナンスのニーズに対応すべく、今般、本ファンドを設立するに至りました。

本ファンドは一部の出資者による先行的な運用を開始しており、1号ファンドと合算した 2025 年 5 月末時点での貸付実績は、累計 130 億円超に達しています。

2. 本ファンドの方針

本ファンドは、1号ファンドで培った運営ノウハウや投融資方針を踏襲、進化させることで、より多くのスタートアップの資金ニーズに応えていくことを目指します。UPSIDER が培ってきた AI 与信の技術を活用し、スタートアップの中でも特にグロースステージにあり、飛躍的な成長が見込まれるお客さまを中心に最大 10 億円の融資を行っていく方針です。また、事業展開が早いスタートアップに対して、テクノロジーを活用し最短 1 週間での与信判断・資金供給等、新たなお客さま体験の提供を目指しています。

3. 今後の展望

UPSIDER とみずほ FG は、本合併事業を通じて、グロースステージ企業に留まらず、より幅広いお客さまの多様な資金ニーズに柔軟かつ迅速にお応えしていくべく、国内外の投資家の更なるご参加も呼びかけながら、オープンなプラットフォームの構築を目指していきます。

4. 本ファンドの概要

正式名称	UPSIDER BLUE DREAM Growth Fund 2号 投資事業有限責任組合
運営会社	株式会社 UPSIDER Capital
出資金総額	143 億円
LP 投資家	京都キャピタルパートナーズ株式会社、株式会社山陰合同銀行、株式会社名古屋銀行、株式会社広島銀行、株式会社福岡銀行、富国生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社
融資対象	グロースステージのスタートアップ
融資金額	最大 10 億円（1 社あたり）
設立	2024 年 11 月

5. 運営会社の概要

会社名	株式会社 UPSIDER Capital
所在地	東京都港区六本木七丁目 15 番 7 号
代表者名	石神 直樹
主な事業内容	ファンドの運営、金融サービスの開発・提供
資本金	1.66 億円（資本準備金等含む）
設立	2023 年 5 月
株主	株式会社 UPSIDER ホールディングス、 株式会社みずほイノベーション・フロンティア
URL	http://upsidercap.com/blue-dream-fund

以 上